



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.329 2018.11.15

次の飛躍へ 確かな一歩を

れんごう

YAMANASHI



連合山梨 第30回年次大会を開催

連合山梨は10月19日(金)セレス甲府(旧アピオ)において中間大会となる第30回年次大会を開催し、2018～19年度におけるこれまでの活動の総括を行うとともに、総仕上げとなる残り1年間の運動方針を承認・決定し新年度のスタートを切りました。

萩原会長による挨拶の後、後藤ひとし山梨県知事、樋口雄一甲府市長、中島克仁衆議院議員、宮沢ゆか参議院議員、輿石 東前参議院副議長、さらには山梨県経営者協会一之瀬滋輝専務理事をはじめとする多くのご来賓の皆さまからご挨拶を頂きました。

議事においては、2018年度活動報告、決算報告、監査報告及び剰余金処分(案)について報告と提案がされ、全体の拍手で承認されました。

続いて、1号議案「2018～19年度運動方針補強(案)」、2号議案「2019年度予算案」が一括提案され代議員からの意見要望が出された後、挙手により満場一致で承認されました。

続いて、3号議案「顧問の解任」の承認に続き、4号議案「大会特別決議」において、来る第25回参議院選挙ならびに第19回統一地方選挙の必勝を期すことが提案され、その前哨戦となる山梨県知事選挙・甲府市長選挙について、厳しい戦いに勝利するため死力を尽くしていくことを確認しました。

その後、「働く者を犠牲にする安倍政治から労働者に目を向けた政治を取り戻す」「安心で公正な社会、平和と豊かさを実感出来る社会の実現を目指す」との大会宣言を採択し、萩原会長による団結ガンパローで大会を締めくくりました。

萩原会長挨拶 (要旨)

●組織拡大

連合は2020年に1,000万連合を目標に組織拡大に取り組んでいる。全国の仲間の努力で15年ぶりに700万人台に回復したが労働組合の組織率は未だ減少傾向にある。

連合山梨では組合員が3万人を割り込み、県内組織率も12%に留まっている。私たち連合山梨からの声かけを待ち望んでいる働く仲間のために発信力を強化していく。

●働き方改革

法案審議に際し厚労省が提出した職場実態データは全くの偽りであり、労働者の命にかかわる課題であるのにセット法案とし、十分な議論も尽くさないまま拙速に法案が成立してしまった。

働き方改革は会社側だけで進めては真の改革とは成り得ず、企業の発展や働きがいのある職場づくりなど、労使の協働作業として進めていかなくてはならない。

行政や経済団体のみならずもしっかりと意見交換を図り、課題解決に取り組んでいく。

●組織強化

社会の急速なグローバル化の進展、企業の合従連衡や技術革新は想像を超えるスピードで進んでおり、非正規労働者も18%強となる130万人を占める状況にある。

連合は2019年10月の結成30周年を見据え、「連合運動

強化特別委員会」を組織し、運動領域の再検討と最適化、福祉運動との関わり、人財の確保と育成、そして持続可能な財政改革と会費納入のあり方などを議論し方向性を示していくこととなる。

連合山梨としても論議に参加しつつ個別事情や地域性を考慮した検討に着手していく。

●政治課題

改ざんや隠蔽、忖度など国権の最高機関たる国会の姿に多くの国民が失望したが、この現状は何としても変えていかなくてはならない。

連合は来夏の参議院選挙の比例代表に10名の組織内候補を擁立し、必勝を期するが、残念ではあるが2党への同時対応で臨まなければならない。非常に厳しい戦況だがやるべきことをしっかりとやり抜くしかない。

大会前に開催した執行委員会において、山梨県知事選挙に「後藤ひとし」氏、甲府市長選挙に「樋口雄一」氏それぞれの推薦を確認し組織の総力をあげて戦うことを確認した。

来年4月の統一地方選挙に対し、候補予定者のこれまでの対応や姿勢などを考慮し、支援体制を協議する。更には仲間のすそ野を広げ、政策・制度課題の前進につなげていく。



第30回年次大会 代議員発言及び答弁

第1号議案 2018～2019年度運動方針(案)補強について

運輸労連

常葉 秀之 代議員

答 弁

窪田 清 事務局長



①請願署名の御礼

「物流を止めないための『時間外労働の上限規制』の適用を求める請願署名」への協力要請に対し、目標の100万筆に対し、185万4,423筆もの署名をいただきました。心より感謝申し上げます。

第196通常国会「働き方改革関連法案」では、参議院で決議された47項目の付帯決議に、われわれ運輸産業に関する項目が載りました。署名の成果だと捉えています。

②運転手の長時間労働改善

厚労省の労働政策審議会に議論の場を移して、改善基準告示の総拘束時間の短縮等の見直し等々、法施行の5年後に自動車運転業務への一般則の適用に向けた検討が引き続き行われることとなっています。

労働政策審議会において付帯決議の早期実現に向けた取り組み、自動車運転業務の一般則化を強く要請していただきたい。

③第30回年次大会運動方針補強案

「運輸業界が抱える課題への対応」として、3項目の取り組みを記載していただいた事に感謝申し上げます。更なるバックアップをお願いします。



連合本部の2019年度活動計画(案)にも、働き方改革関連法案の成立を受けて、様々な角度から「長時間労働是正やゆとりある職場環境」の改善に向けた取り組み方針も出されています。他産業に適用される一般則(年720時間以内)から大きくかけ離れた「年960時間」という数字には休日労働が含まれておらず、年間総拘束時間に置き換えると、現行と何ら変わらない異常な水準と認識しています。

連合としては「働くことを軸とする安心社会」という政策パッケージも持っていますので、産業政策と雇用政策を一体的に推進していく中で、ただ今ご意見としていただいた、付帯決議の早期の実現に向けた取り組み等について本部等へ要請してまいります。

なお、働き方改革関連法案の長時間労働是正については、運輸産業以外にも教職員や医療関係者にも大きな問題もなっていますので、対策の実効性確保と法的対応を求める集会の開催や、文部科学省、地方自治体、教育委員会への要請行動等の実施に向けた取り組み要請も併せて行っていくこととします。

連合山梨推薦の選挙候補予定者

連合山梨は、第12回執行委員会(2018年10月19日)において、2019年1月27日(日)投開票の山梨県知事選挙及び甲府市長選挙において、以下の2名の推薦を決定しました。

【山梨県知事選挙】

2019年1月10日(木)告示
27日(日)投開票

ごとう ひとし
後藤 斎 氏



現職1期
1957年7月22日生まれ(61歳)
甲府第一高校 卒業 東北大学経済学部 卒業
2000年6月 衆議院議員 初当選 民主党
衆議院議員4期
2015年1月 山梨県知事 初当選 現在に至る

【甲府市長選挙】

2019年1月20日(日)告示
27日(日)投開票

ひぐち ゆういち
樋口 雄一 氏



現職1期
1959年12月30日生まれ(58歳)
甲府第一高校 卒業 専修大学経営学部 卒業
1983年4月 全労済山梨県本部勤務
1999年4月 山梨県議会議員 初当選
山梨県議会議員4期
2015年2月 甲府市長 初当選 現在に至る

法律相談 & 「心のケア」カウンセリングのお知らせ

法律相談

12月12日(水)

1月10日(木)

2月13日(水)

3月14日(木)

相談時間 / 15:30～17:30(相談時間は1人30分無料)

「心のケア」
カウンセリング

12月12日(水)

1月9日(水)

2月6日(水)

3月6日(水)

カウンセリング時間 / 18:30～20:30(カウンセリング時間は1人50分無料)

お申込み やまなし勤労者サポートセンター(担当・西澤)まで お問合せ TEL 055-227-6290 FAX 055-222-1189

最低賃金改定 ・ ディーセントワーク

10

12
FRI

駅頭チラシ配布行動を実施

連合山梨は10月12日(金)甲府駅前において、今月3日から適用となった山梨県最低賃金額810円(旧784円、+26円アップ)の周知を中心としたチラシ配布行動を実施しました。

当日は役員を中心に23名の参加の下、最低賃金の遵守とディーセントワークの実現を目指し、2,000枚のチラシ入りティッシュを配布しました。

山梨労働局の賃金実態調査によると最低賃金以下の雇用単価で労働者を働かせていた企業は県内全体で113社に達しており(調査企業のうちの0.5%)、「改正を知らなかった」「大企業だけが適用されると思っていた」といった理解不足や誤解が未だに散見されています。

連合山梨は最低賃金の引き上げとその遵守に向け、引き続き取り組んでいきます。

11
1
THU

山梨県への政策制度要求と提言

県民が安心して暮らせる社会基盤の構築をめざして

連合山梨は、11月1日(木)「山梨県への政策制度要求と提言」を行いました。本年度の提言は、若者の県内定着に向けた取り組みや教職員の勤務労働条件改善、大規模災害への備えなど4分野、合わせて26項目です。

冒頭、萩原会長は、「難しい県運営ではあるが、山梨のよさがグッと引き立つよう、提言の前進に向け努めてほしい」と訴え、後藤知事に要求書を手交しました。続いて窪田事務局長より、各分野における主要提言について説明がなされました。

意見交換では、民間および教職員の働き方改革が具体的に動き出している現状に触れ、県としての更なるサポートや、大きな災害が頻発する状況に鑑み、県民への分かりやすい情報提供などを求める声がありました。

後藤知事からは、「連合を代表とする『働く者』の立場の要望実現にむけ、これまでも真摯に務めてきた。これからも、本日いただいた提言を実現するんだというスタンスで県政運営に臨んでいく」と力強い返答をいただきました。

政策・制度委員会 委員長 金丸 徹



10

29~30
MON TUE

2018東日本大震災被災地復興支援を実施

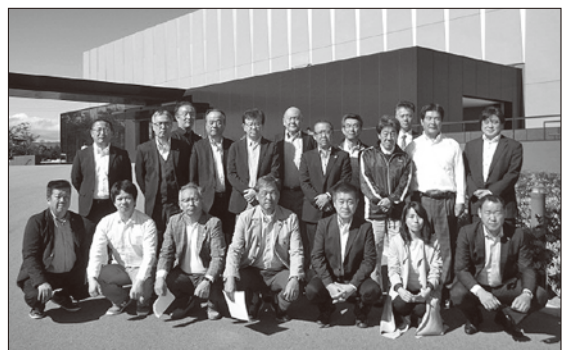
連合山梨と労働者福祉協会は2018東日本大震災復興支援行動を10月29日(月)~30日(火)の2日間において実施し、事業団体からの参加者を含む総勢19名にて福島県南相馬市や楡葉町などを訪問しました。

あの震災からまもなく8年を迎えようとする今日、現地では作業ボランティアなどの要請は減少して復興が進む一方、時間の経過とともに忘れられ、風化していくといった新たな課題に直面しています。

今回の視察においては、地元ガイドによる復興状況の説明と見学をはじめ、山梨県電力総連のご協力により楡葉遠隔技術開発センターや、福島第一原子力発電所の視察を行うなど、廃炉に向けた行程も学ぶ事が出来ました。

日本各地で多発し、増加している大規模災害に対して、連合山梨ボランティアサポートチームを中心にこれからも研鑽を続けていきます。

会長代行 久保寺 成典



官公部門連絡会

10 **10** **WED** **合同総決起集会**

納得できる勧告・報告を勝ち取るぞ!!

10月10日(水)18時30分から、舞鶴城公園恩賜林記念館前において400人を超える組合員が結集し、対県共闘会議・連合山梨官公部門・自治労山梨県本部合同総決起集会が開催されました。

集会冒頭、松木友幸対県共闘会議議長(自治労)は、「県人事委員会勧告が10月中旬に発出される見込みとなっていますが、本勧告が県下の中小地場賃金へ多大な影響を及ぼすため、賃上げにより消費を下支えすることで県内経済の好循環を目指す。国と県で異なる手当では公民較差を解消できない、較差は給料で確実に解消できるよう県独自の給料表作成を県人事委員会に対し強く訴えていく。自分たちの賃金は自分たちで勝ち取っていこう」と訴えました。

自治労県職労深尾書記長による情勢報告後、山教組東山梨支部平山書記長と自治労山梨県本部土橋書記次長から決意表明があり、その後、「対県共闘会議・自治労山梨県本部・連合山梨に結集し、2018県人事委員会勧告期を中心とした賃金確定闘争を全力でたたかっていく」との集会決議を満場一致で決議しました。

集会の最後に、『給料表引き上げで公民較差を完全解消しろ』、『ボーナスを引上げ、期末手当に全額分配しろ』、『人員を増やし、ゆとりある職場環境を実現しろ』、『非正規職員の処遇を改善しろ』、『60歳以降も安心して働ける雇用制度を実現しろ』と、5つのスローガンを県人事委員会が入っている県庁別館に向け参加者全員で訴えました。



10 **15** **MON**

視察研修 今後の地域振興や再開発など 将来に向けて参考となる研修

官公部門連絡会は10月15日(月)に初めての取り組みとなる視察研修を実施しました。

視察地は静岡県の浜松市で、官民共同施設であるアクトシティ浜松や、浜松市の基幹産業を担っている工場などを見学しました。

アクトシティ浜松は、浜松市の産業・文化の発展を担う中核施設として建設された官民共同の複合施設であり、大・中ホールやコンgresセンターなどを持つAゾーン、オフィスやホテル、専門店街のあるアクト

タワーのBゾーン、展示イベントホールのCゾーン、楽器博物館・研修交流センターのあるDゾーンの4つのゾーンに分かれており、Bゾーンは民間が管理する民間施設、その他は浜松市から管理委託を受けて公益財団法人浜松市文化振興財団が管理する市の施設となっています。

民間と公共のそれぞれの長所を生かした取組みにより、利用率も年々上昇して8割を超え、利益もしっかりと出しているなど、山梨県においても今後の地域振興や再開発など将来に向けて参考となる研修となりました。

連合山梨官公部門連絡会で、10月と11月に実施している「2018確闘勝利!対県共闘・自治労山梨・連合山梨官公部門合同総決起集会」などに対しても民間産別のみならずにも多く参加頂いており、官公部門と民間産別が今後も協力し、ともに連合運動を盛りあげていきたいと思ひます。



官公部門連絡会 事務局長 土橋 大輔

やまなし労福協

10 **4** **THU**

第33回チャリティゴルフ大会



山梨県労福協第33回チャリティーゴルフ大会を10月4日(木)にC・Cグリーンバレーに於いて行いました。当日は天気が心配されましたが、94名の参加をいただき盛大に行われました。

(チャリティー金は、県社会福祉協会を通じて「山梨ともしび基金」に寄付する予定です。)

大会結果

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 👑 優勝 | 関戸 武郎 (NTT OB) | (ベスグロ) |
| 👑 準優勝 | 石川 達哉 (南ア友の会) | 土橋 一光 (連合山梨) |
| 👑 3位 | 土橋 一光 (連合山梨) | グロス75 |